

# 一般会計予算に対する討論

平成26年度一般会計予算は、3月定例会最終日に可決されました。この議決に先立ち、同予算に対する討論が行われ、4人の議員から賛成意見が、4人の議員から反対意見がありました。概要は次のとおりです。

## 賛成

●本予算は、3年ぶりの増加となり、積極的な予算編成であることが伺える。市長のマニフェストである5つの力のうち、「元気の力」では、保健福祉センターの整備をはじめ、超高齢社会を見据え、運動習慣を身に付けてもらう、お達者ウォーキングやがんの早期発見を目指す、施設検診の実施など、充実した予算編成となっており評価できる。産業の力では、観光資源の少ない本市の状況を踏まえ、農業・商業・工業によるシテイセールスへ積極的に取り組もうとする姿勢が見える。インター開設により、本市を訪れる方の増加が見込まれるが、通過点とならないよう、魅力あるまちづくりに取り組むことを希望する。「教育文化の力」では、新たに学力向上推進支援者を配置する経費が計上された。基礎学力を定着させることで、学習のつまづきをなくすという考えには大いに賛成する。数値的に測ることは難しいが、事業効果を検証し、課題を教育施策に生かすとともに、教材整備に頼ることなく、教員の資質向上にも努めるようお願いする。以上、当初予算に対する考えを述べたが、将来都市像実現に向けた予算が編成されており評価でき

きる。今後も事務事業の見直しなどを行い、さらなる市民サービスの向上を目指すよう要望し、本予算に賛成する。  
(新政会)

●本予算は、前年度比13%増、286億6000万円と過去最高の予算規模となった。歳出をあやせプラン21の重点プロジェクトに照らし合わせると、インターチェンジを活かした拠点整備事業では、用地取得、移転補償費などの関連事業予算が計上されている。企業や顧客の獲得競争に乗り遅れることのないよう、早急に調整し、市民が胸躍る将来像を提示することを願う。子育て環境を充実する事業では、民間保育所の施設設置助成などの予算が計上されている。施政方針では、3年間で200人の待機児童を解消すると述べられたが、安心して子育てができるまちの実現に向け、市民ニーズを的確に把握し、横断的な事業展開をお願いする。緑と水のネットワークを形成する事業では、都市化と環境保全の調和を図るとともに、市民の憩いの場として公園を整備することは重要である。今後は、子育て支援、高齢者の健康保持などの視点も取り入れ、市民、事業者、行政の協働により総合的な観点からの施策展開を要望する。限られた財源の中、多様な市民要望にしっかりと向き合った

予算となっている。あやせプラン21の将来都市像でもある「緑と文化が薫るふれあいのまち あやせ」の実現に向け、堅実な行政運営に努めることを願う、本予算に賛成する。  
(公明党)

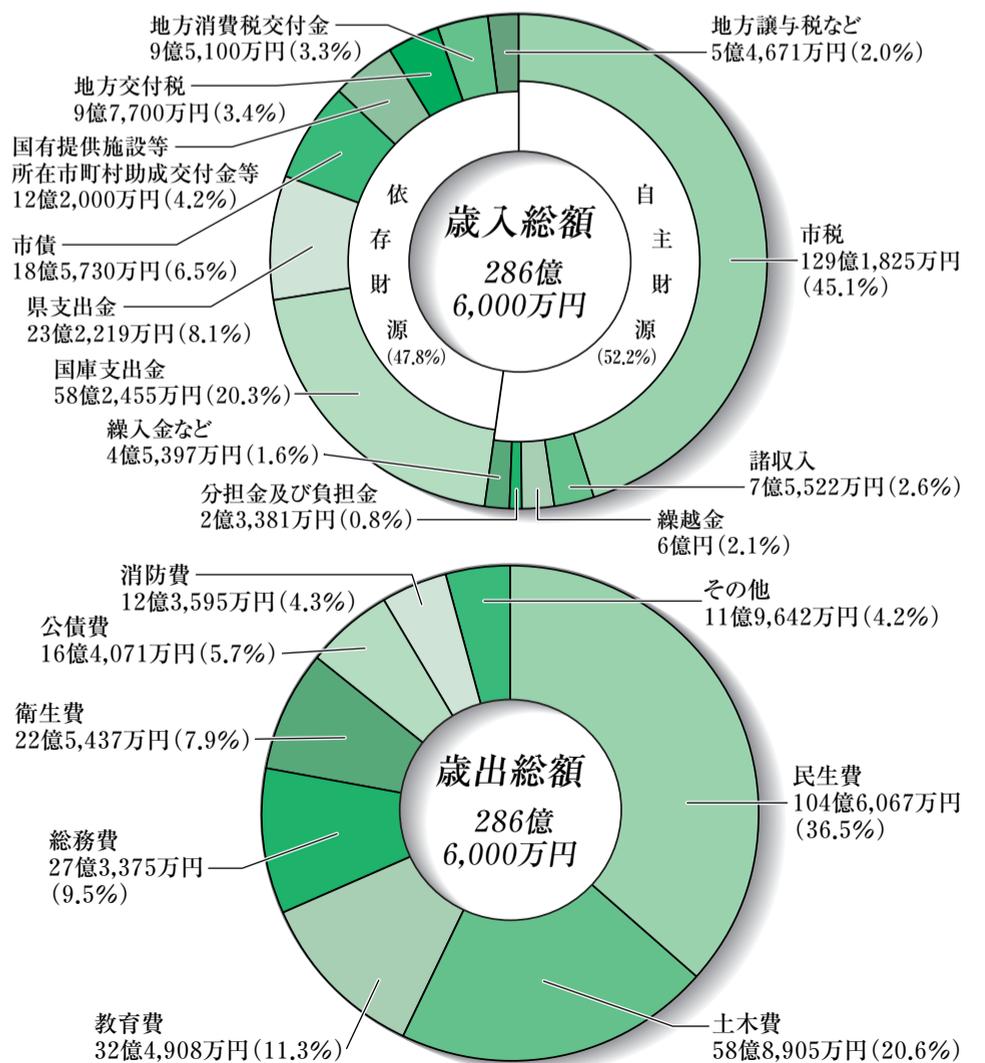
●本予算は、自主財源が市税などの増により、2億6000万円増となったが、国庫支出金・県支出金などの依存財源は、30億2000万円増となった。性質別予算では、普通建設事業費がインター関連事業に係る用地取得費や小学校施設整備費など、24億7962万円増となった。わが国の経済は、長期的には楽観視できない状況にあり、少子高齢化の進捗を考慮すれば、依存財源による施設整備事業は精査が必要である。また、繰出金が平成22年度の31億6793万円から35億5380万円に増加しており、各特別会計への注視が必要である。維持

●今回の予算は、交付金による普通建設費が大幅に増える中、新規事業としての認知症相談、継続事業としての学校給食放射線検査など、市民生



学力向上推進支援者を全小中学校に配置し、児童に対して補習などを行います。学習習慣の定着化や学習意欲の向上を目指します

## 一般会計予算歳入・歳出の状況



## 平成26年度各会計の予算規模

会計名	予算額	対前年度比		
		増減額	増減率	
一般会計	286億6,000万円	32億9,000万円	13.0%	
特別会計	国民健康保険事業	100億円	△7,500万円	△0.7%
	下水道事業	36億2,300万円	5億1,100万円	16.4%
	深谷中央特定土地画整理事業	7億7,900万円	△2,000万円	△2.5%
	介護保険事業	42億6,600万円	5億5,100万円	14.8%
	後期高齢者医療事業	7億6,700万円	4,400万円	6.1%
	計	194億3,500万円	10億1,100万円	5.5%
合計	480億9,500万円	43億100万円	9.8%	